

令和 4 年 1 月 1 1 日  
保健医療調整本部

新型コロナウイルス感染症の対応について（R4. 1. 10 現在）

1 感染状況

- ・ 1 月 6 日から、レベル 1（安定的に医療等の対応ができるレベル）に移行
- ・ 各保健所で陽性者が確認されており、特定の感染源由来とは考えにくい。
- ・ 1 週間あたり（R4. 1. 4～R4. 1. 10）の新規感染症患者 61 名（人口 1 0 万人当たり 5. 0 名）  
※前週（R3. 12. 28～R4. 1. 11）の 1 週間あたりの新規感染症患者 4 名（同 0. 3 名）
- ・ オミクロン株の割合 48. 5%以上（昨年末以降におけるオミクロン可能性も含む割合）
- ・ 感染経路不明又は確認中の割合 33. 3%（昨年末以降）
- ・ R4. 1. 10 現在、入院者数 50 名、宿泊療養者 7 名、自宅療養者 1 名、入院調整者 7 名

【昨年末からの新規感染症患者】

	青森	津軽	八戸	西北五	上十三	下北	計
デルタ					1 2		1 2
オミクロン					5		5
オミクロンの可能性	3	7	5		1 0	2	2 7
検査中・不明		1 5	3	3	1		2 2
計	3	2 2	8	3	2 8	2	6 6

※「オミクロン株の可能性」はオミクロン株患者の濃厚接触者又は L 4 5 2 陰性の方。

2 今後の感染拡大の見込み

- ・ R4. 1. 10 時点の入院者数は、レベル 2（警戒を強化すべきレベル）相当。
- ・ さらに、沖縄県、広島県、東京都、大阪府等のオミクロン株を含む急速な感染拡大を鑑みると、その後も、急速に感染が拡大する可能性が高い。
- ・ また、オミクロン株は、接触の度合いが低くても感染している事例が確認されている。
- ・ 特に、医療機関や保健所等のコロナ対応する職員へ感染や行動制限による影響も懸念。

3 新型コロナウイルス感染症の対応（案）（議題）

- ・ 令和 4 年 1 月 1 2 日からレベル 2（警戒を強化すべきレベル）へ引き上げる。
- ・ 県民に対する注意喚起を実施。
- ・ レベル 2 に対応する施策を検討。
- ・ 無症状の感染不安を感じる県民に対して特措法に基づく検査の受検を要請（詳細は別添のとおり）。